

# 令和7年度 第1回久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会 会議録概要

## 1. 日時

令和7年9月19日(金) 午後2時00分から午後3時00分

## 2. 場所

大矢知地区市民センター 大会議室

## 3. 出席者(順不同・敬称略)

### 【委員】

小澤 育委員長、中村 雄一委員、伊藤 鈴子委員、阪 早苗委員

(欠席:酒井 智子委員)

### 【事務局】

四日市市シティプロモーション部文化課

田中 敦(部長)、中野 千幸(課長)、葛山 拓也(副参事兼課長補佐)、

清水 政宏(文化財グループリーダー)、大原 涼子(くるべ古代歴史館)、永田 智子

## 4. 傍聴者

なし

## 5. 会議録(要旨)

### (1)開会

あいさつ(略) シティプロモーション部長 田中 敦

### (2)新委員の就任

事務局 : 小林 美和委員が昨年度をもって退職され、後任に四日市市立羽津小学校長 酒井 智子様に就任いただいたことを報告する。

### (3)自己紹介

自己紹介(略) 全員

### (4)副委員長の選任

事務局 : 小林委員の退任に伴い、新副委員長の選任をお願いしたい。事務局としては後任の酒井委員に就任いただいてはと考えているがいかがか。

全 委 員 : 同意

事務局 : 異議なしということで、副委員長を酒井委員にお願いする。

## (5) 報告事項

委 員 長：報告事項 令和7年度事業について事務局から説明をお願いしたい。

事 務 局：(令和7年度事業について、事務局より説明)

委 員 長：ただ今の説明に関して、質問や意見がありましたら頂戴したい。

委 員 長：令和8年度に計画されているトンネル絵画について具体的な内容を知りたい。

事 務 局：現在計画中であり、次回の会議で具体的な内容を提案し皆さんのご意見を頂戴した上で事業を進めていきたい。

委 員 長：トンネル絵画については、どのような形が望ましいか前回の会議でも話題になつた。それを受けた現在計画中だということでよいか。

事 務 局：よい。

委 員 長：両側面と天井も全て使うくらいの盛大な絵を描いてほしい。

委 員 長：維持管理も含めて経費がかかるため、実りあるものになるように引き続き事務局で検討いただきたい。

委 員 長：来館者について、夏休み期間中、昨年度より少なくなっているのは、酷暑が続いたため、やむを得ない面もあると思う。

委 員 長：くるべ×芸能大会 合同祭は今年度だけか、来年度以降も継続するのか。

事 務 局：今年度は第一回となり、来年度以降も合同で開催する予定である。

委 員 長：これまで久留倍官衙遺跡まつりとして独立して開催していたのを、どうして合同で開催するのか。

事 務 局：文化財グループも文化振興グループも、秋という季節の良い時期に、様々な催しを各々で開催してきた。今回、文化課として合同で一つの催しを作り上げるほうが、相乗効果が得られ、お客様やスタッフの力の取り合いにならないのではないかと考えた。お客様により楽しんでいただける、そのような機会を文化課全体で持ちたいと考えている。また、来年度は久留倍官衙遺跡 国指定20周年という機会であるため、くるべ古代歴史公園でコンサートや芸能大会を開催することも考えながら、文化課の秋の祭りとして取り組みたい。

委 員 長：来場者の方々に一番喜んでいただける形が望ましいと思う。合同開催という形も含め、より良い方向を探っていただきたい。

委 員 長：学校の活用実績について、社会見学で来た学校からはどのような感想が寄せられているのか。次につなげるためのフィードバックは取っているのか。また、9月12日夜の記録的な大雨による、くるべ古代歴史公園への影響はあったのか。

事 務 局：社会見学で来た学校にはアンケートをお願いしており、こどもたちが地元の遺跡を知ることができたということで先生方からも好評いただいている。交通手段の確

保には苦労されるところもあるが、港湾バスを利用するなどしている。大雨による影響については、次の日すぐに見回りをし、被害がなかったことを確認した。

委 員 長：社会見学は6年生が来ることが多いようだが、6年生ではこういった社会見学が授業の一環として組み込まれているのか。

事 務 局：6年生の一学期の終わり頃に奈良時代について学習するため、それに合わせて社会見学に来ることが多い。また、四日市市では社会見学でも奈良へ行くケースが多いと聞いている。一方、貸切バスの料金が高騰しているため四日市市内の社会見学を検討し久留倍官衙遺跡にしたと聞いた学校もある。

#### (6)協議事項

委 員 長：協議事項 令和7年度事業目標案について事務局から説明をお願いしたい。

事 務 局：(令和7年度事業目標案について、事務局より提案)

委 員 長：ただ今の説明に関して、質問や意見がありましたら頂戴したい。

委 員：来年度は国指定20周年ということだが、20年ともなると大規模な改修を行うところが多いと聞いている。改修にあたっては予算を組み立ててスムーズに行ってほしい。

また、斎宮に関する展示を開催すると聞いているが、それに合わせて講演会を開催し、斎宮や伊勢神宮との関わりが聞けるとよい。

久留倍官衙遺跡だけではなく、歴史のことでも地域のことでも広がりを持って来館者に伝えられるとよいと思う。

委 員 長：遺跡を考える上では、位置的環境・歴史的環境を含め全体の中での位置づけが必要になるため、幅・広がりを持った形で伝えていくことを考えていただきたい。経費・時間・マンパワーの制約があるためすぐにできることばかりではないだろうが、その点も含め事務局で検討してほしい。

委 員 長：「②活用 遺跡説明動画(YouTube)の作成」については、前年度の評価で唯一「×」となった。今年度はそういったことがないよう1本以上制作することを重点的に考えてほしい。

事 務 局：昨年度に目標が不明瞭になっていた項目について、今年度は数値化するよう見直した。遺跡説明動画については1本以上制作することを目標に挙げており、実現したい。

委 員 長：数値が全てではないが、評価においては数値目標が必要になることが多い。目標として挙げた以上は、全うできるようにしてほしい。

事 務 局：承知した。

委 員：「②活用 SNS発信」について、現在のフォロワー数が289となっているが、非常に

少ないように感じる。久留倍官衙遺跡自体の知名度が低いのであれば他の方法で発信することも検討すべきで、知名度があってもSNSを見ないのであれば久留倍官衙遺跡に魅力がないのかということになる。久留倍官衙遺跡をどうやって知つてもらうのか、今一度考えるべきではないか。

委 員：現在のフォロワー数ではやはり少ない。最低でも1,000は超える必要がある。SNSで知名度を上げるには、久留倍官衙遺跡につながるハッシュタグを作るとよいのでは。また、久留倍官衙遺跡を知らない人は”遺跡公園””四日市観光”などのワードで検索すると考えられる。そのときに検索結果に表示されるような工夫があるとよい。

委 員：ホームページに載せたから見てもらえる、回覧板で回したから見ている、というのは一方的な考え方で、ホームページに載せても、回覧板を回しても、見ていない人はいる。その人たちへどうやって届けていくかを考えるべき。

委 員 長：久留倍官衙遺跡のホームページは、見やすい、わかりやすいとは言えない。たとえば、Ⅰ期～Ⅲ期の変遷が文字で書かれるため、イメージしにくい。画像を利用してわかりやすくする方向で考えてほしい。ホームページを見て、行ってみようと思つてもらえることがフォロワーを増やすことにもつながるのでは。また、なるべく発信することでフォロワーを増やすよう考えてほしい。

委 員：八脚門越しに初日の出を撮っている人がいる。ちょうど八脚門の中に初日の出が入るため、それをもっと宣伝してはどうか。

委 員 長：ホームページでは、行政的な整備過程を載せることも意味があると思うが、もっと人を惹きつけるような方向にシフトしてもいいのでは。

委 員：博物館に久留倍官衙遺跡のパンフレットを置かせてもらえるとよい。博物館から久留倍官衙遺跡への道順を示す地図もあると、博物館に来たお客様に久留倍官衙遺跡にも足を運んでもらうきっかけになる。

委 員 長：事務局には、いただいた提言を踏まえて検討をお願いしたい。

委 員：久留倍官衙遺跡の切り口を増やさないと、新しいお客様にも、何回か来ていただいているお客様にも、魅力を発信できない。

事 務 局：いただいたご意見について、計画を立ててやっていかなければいけないこともあります、早い時期に実施できることもあると感じた。

特に宣伝方法については試行錯誤が続いており、フォロワー数が伸びないことも認識しているため、いただいたご意見を参考に改善につなげたい。

博物館との連携は計画しているところであり、パンフレットの配架も含め協議を進める。

歴史館は平成30年に、公園は令和2年にオープンした。修繕については長期的な計画を立てて実施していかなければいけないと考えている。他方、落雷による電灯の故障や電球切れなどは予算を確保した上でできるだけ早急に対応する。

委員長：久留倍官衙遺跡の歴史上重要な点であり、また興味を惹きやすい部分である、壬申の乱や古代の交通路との関係などは、わかりやすく情報発信してほしい。

資料にある「鍵の開錠施錠」という表現は「解錠施錠」または「施解錠」に修正するのがよい。

事務局：承知した。

資料の「鍵の開錠施錠」部分を修正する。

委員長：今年度の事業目標を達成できるように進め、次回はその評価のため委員会に参集することになる。

#### (7)その他

委員長：その他、事務局および委員の方々から何かあればお願ひしたい。

事務局：特段無い。

#### (8)閉会

事務局：本日の議題はこれで終了する。次回の会議は3月、場所はくるべ古代歴史館を予定している。本日提示した目標をもとに今年度の評価を実施していただきたい。

委員長：議事録を酒井副委員長にも送り、報告をお願いしたい。

事務局：承知した。

以上